

2025 年度ゼミ（演習 2A／演習 2B）要覧

担当者名	青柳 寛
演習テーマ	「生きざま」の人類学
校外実習	①、実施しない ②、実施（実施時期：2026 年 2 月）
メール・アドレス	aoyagihr@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	原則アポイントメントにより昼休みを活用
2026 年度に開講しない可能性 (研究サバティカル)	なし（2026 年度も開講いたします！）
授業概要	「ヒトにとって<生きる>とはどういうことなのか？」という哲学的な問いを念頭に、比較文化論の立場から「生きざま」についてゼミのみんなで吟味して参ります。異世界に生きる人々の生き様に触れ、生活の知恵に鑑みながら、自身の生き方について考え、自己開拓を図つていただく場としても本ゼミを活用いただければと思います。「生きること」に対して学問的な意味で真剣に向き合ってみたい貴君はぜひご参画を！
学習目標	知的なセルフエンパワーメントに基づく人生開拓
授業計画	ゼミ 2A（前半・春学期） 第 1 章：「ヒト」の人類学的考察について 第 2 章：「生きざま」の比較文化概論 第 3 章：「成長」-vs-「脱成長」 第 4 章：オートエスノグラフィック・アプローチについて 第 5 章：ライフサイクル考 ゼミ 2B（後半・秋学期） 第 6 章：ライフスタイルの考古学的考察 第 7 章：生命芸術論①—ールネッサンス考 第 8 章：生命芸術論②—民藝運動に学ぶこと 第 9 章：コカコロニゼーションの示唆 第 10 章：サイボーグの可能性と限界について考える ※各章とも基調懇談（1 回）と 2 回分の課題演習によって構成されています。 ※演習課題はゼミメンバーが協議しながら持ち寄り、皆で取り組みます。
予習	進行状況に応じて次題目を先見し、関連情報を検索しておく。
復習	演習の内容を振り返り、得られた学びを自身の思索・考察および発展的な検索や探究と併せてノオトに取りまとめる。
授業に関する注意事項	思考力と創作力が、コミュニケーション能力と共にものをいうゼミです。受け身な参加ではなく、積極的な参画を心がけていただきます！
教科書	田辺繁治『生き方の人類学：実践とは何か』
参考書	1) 松村圭一郎『うしろめたさの人類学』 2) 南研子『アマゾン、インディオからの伝言』

成績評価の基準	参画 (50%)、マイライフノオト (50%)
関連 URL	https://fis.meijigakuin.ac.jp/about/staff/aoyagihiroshi/
認定留学期間中の 遠隔指導	(可) / 否 / その他() ※留学等の渡航はフィールドワークと見做して出向いていただきます。
備考	目的意識を持っておいでください！